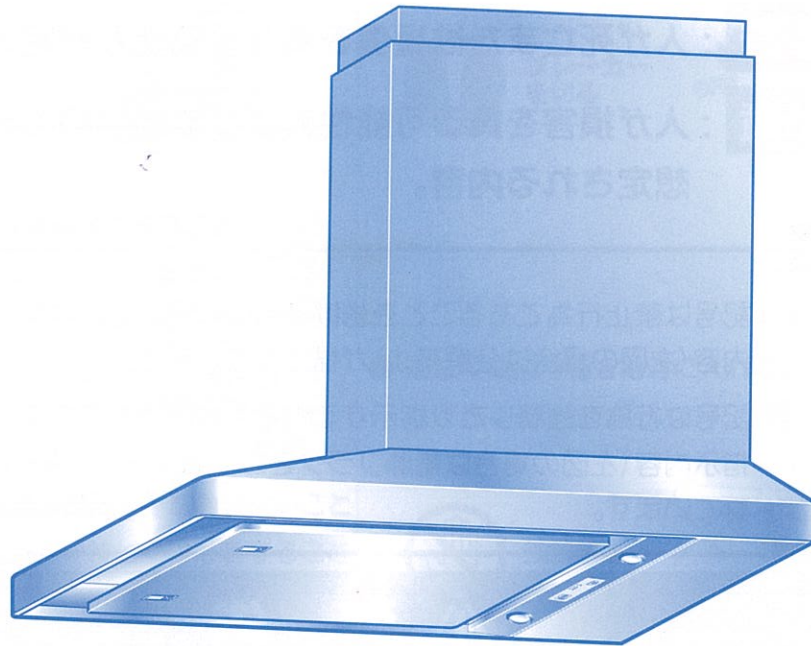


レンジフードファン

取扱説明書



も く じ

安全上のご注意	2～3
使用上のお願い	4
使いかた	5～8
各部のなまえ	5
リモコンの準備・取付	5
操作スイッチ	8
お手入れのしかた	10～15
分解・組み立てのしかた	11
ランプ交換のしかた	14
ファンのお手入れのしかた	15
故障かなと思ったら	18
仕様	18
アフターサービス	19

このたびは弊社のレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは取付説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



○ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造しないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



分解・修理
改造禁止

- 電気部品は、水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと

発火したり感電することがあります。



水かけ禁止

- ガス漏れの際、スイッチを切/入しないこと
ガス爆発の原因になります。



操作禁止

- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ること

感電やけがをすることがあります。



ブレーカー
を切る



- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと
火災の原因になります。



ほこりを
とる

安全上のご注意

注意

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードに傷が付き、火災や感電の原因になります。



プラグを
持って抜く



- 羽根や部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります。



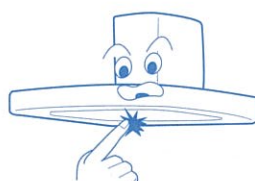
取付注意



- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。



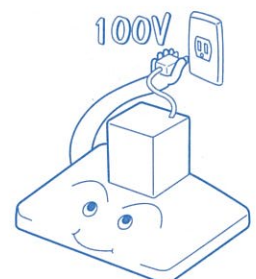
接触禁止



- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災の原因になります。



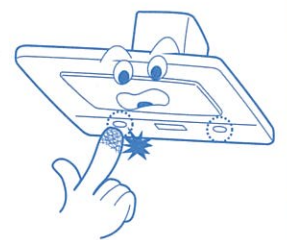
使用禁止



- ランプカバーおよびその周辺には、手を触れないこと
高温になるため、やけどをすることがあります。



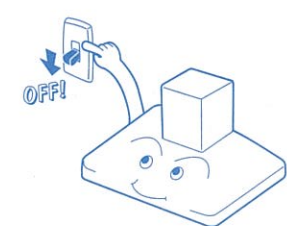
接触禁止



- 長時間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ること
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



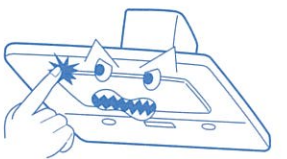
ブレーカー
を切る



- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります。



接触禁止



- 調理中、油に火がついたときは運転を止めること
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です。



運転停止



- お手入れの際は、厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



手袋をする



使用上のお願い

⚠ 注意

- 運転中は指や物を絶対にいれないこと
けがをすることがあります。



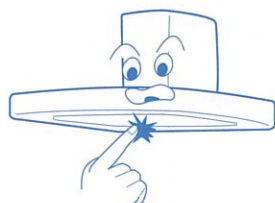
接触禁止



- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。

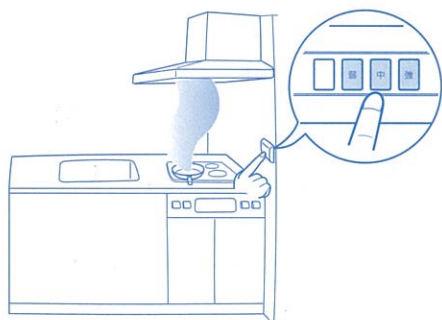


接触禁止



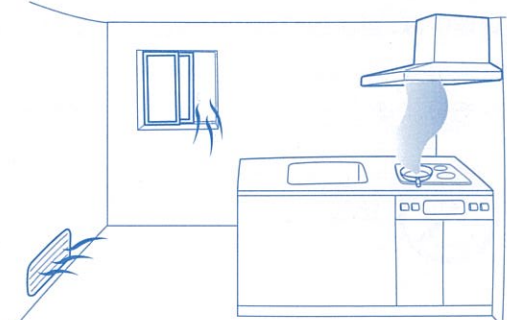
- 調理器具を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

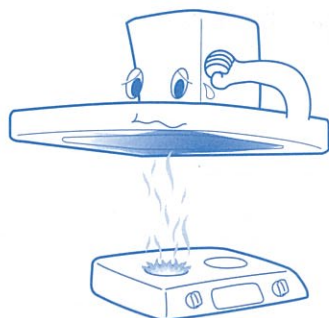


- 調理中は給気を行ってください。

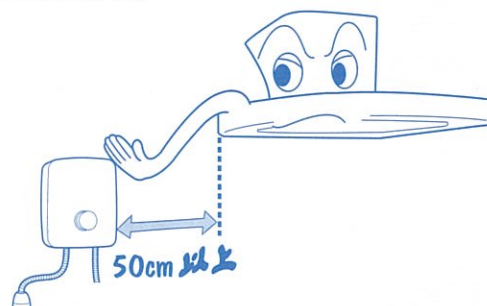
レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気の入りが不十分だと換気性能が低下します。



- 調理器具の空焚きは絶対にしないでください。
製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

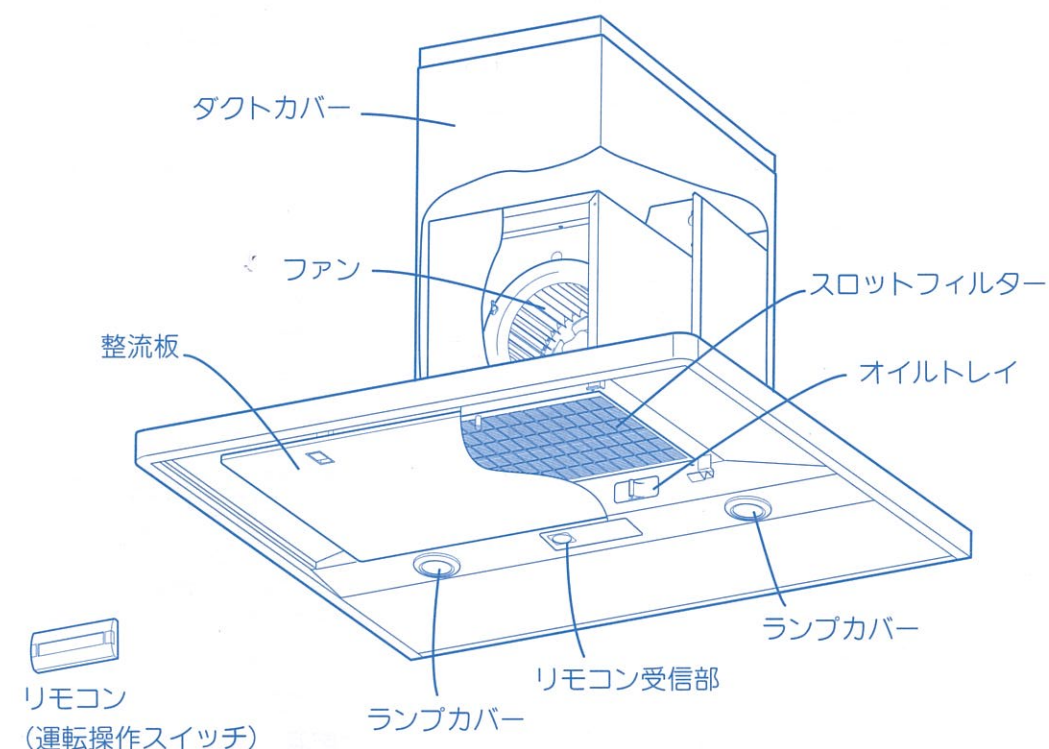


- IHクッキングヒーターと合わせて使用する場合には横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります。また、キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください。



使いかた

各部のなまえ

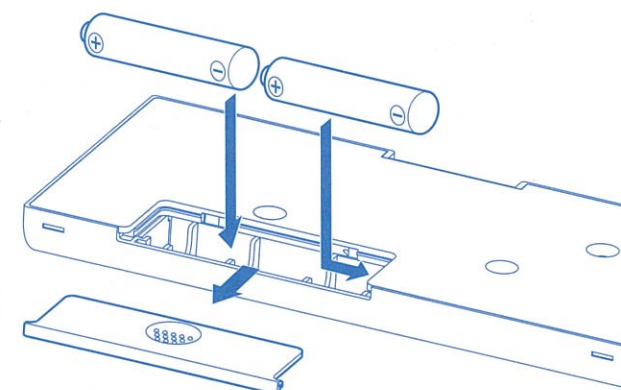


リモコンの準備・取付

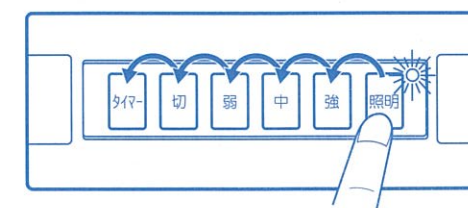
- リモコンに乾電池を入れます。

- 1 リモコンの裏面から電池カバーをはずします。付属の乾電池単4形2本を極性に注意しながら入れ、電池カバーを取り付けます。

※ 「カチッ」と音がするまでしっかりと電池カバーを取り付けてください。



- 2 各スイッチを押して送信確認ランプが点灯することを確認してください。

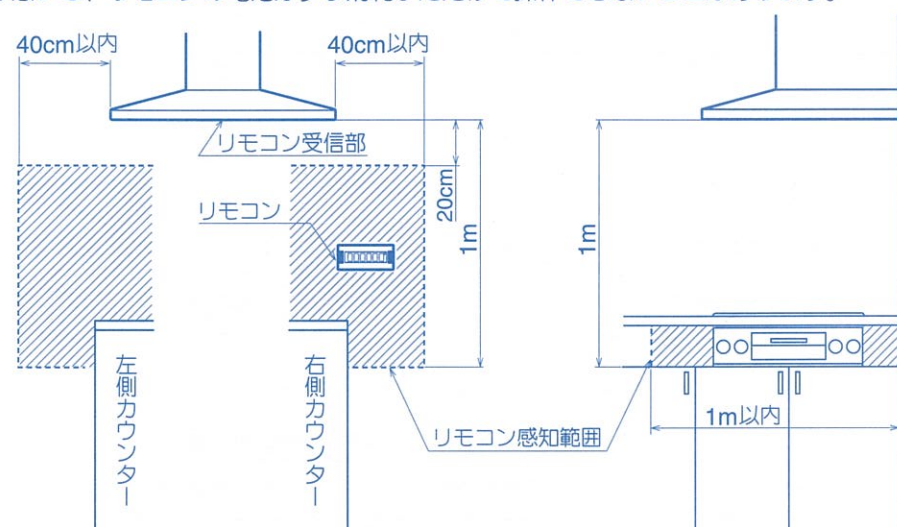


使いかた

■ リモコンホルダーを取り付けます。

ご注意

- 図はリモコン感知可能な範囲を示したものです。斜線部に示す範囲内で取付位置を決めてください。範囲に示す以外の場所に取り付ける場合はリモコンで確実に運転できることを確認してから、取付位置を決めてください。
- リモコン操作するときにリモコンの受信部が人のかけや物のかけに隠れると操作できません。
- リモコンとリモコン受信部の距離が遠くなると操作できません。
- 受信条件が悪いと、リモコンの電池が少し消耗しただけで操作できないことがあります。

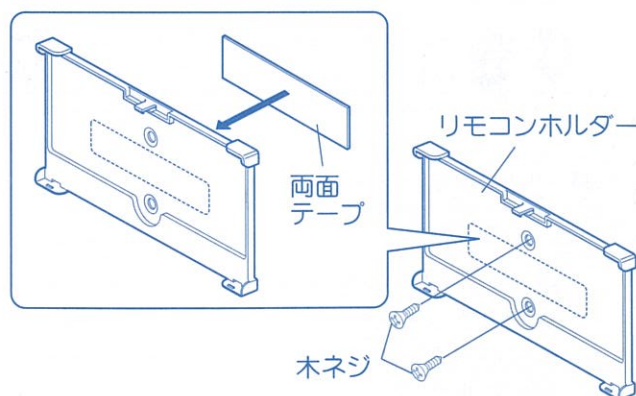


リモコン感知可能取付範囲

- 1 リモコンホルダーを付属の木ネジ2本と両面テープで壁などに取り付けます。

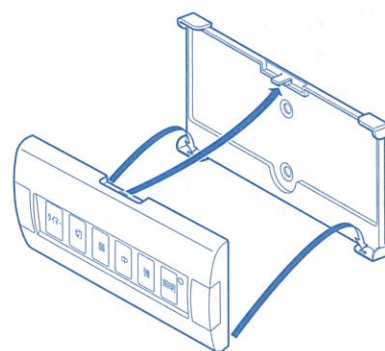
ご注意

- 両面テープの接着面のゴミや油よごれを取り除いてください。接着面が弱くなり、リモコンが落下することがあります。



- 2 リモコンをリモコンホルダーに引っかけて固定します。
リモコンホルダーの下側のツメ2ヶ所に引っかけてから上側のツメで固定します。

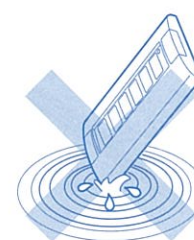
- 3 リモコンのスイッチを操作してリモコンが落下しないことを確認してください。



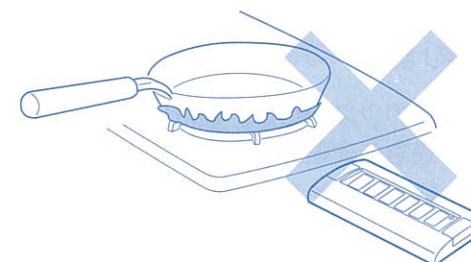
使いかた

⚠ 注意

- 水・洗剤の中に落としたり、濡れた手で操作しないでください。
※ 故障の原因になります。
- 落としたり、投げたりしないでください。
※ 故障の原因になります。



- 直射日光の当たる場所、調理機器など高温になる場所の近くには置かないでください。
※ 故障の原因になります。
- 送、受信部が汚れていると受信しにくくなりますので早めに汚れを拭きとってください。



- リモコンスイッチの送信確認ランプが点灯しなくなったり、確実な操作ができなくなったときは市販の単4乾電池(2個)と交換してください。(電池の交換は5ページ参照)
- 交換する乾電池は必ず2個とも新しい同じ種類のものをお使いください。
- 乾電池の液漏れによる故障をさけるため、長時間使用しない場合は乾電池を取り出してください。
- 分解はしないでください。
- 電池交換後、裏面のふたが確実に取り付けられているか確認してください。
取り付けが不十分ですと、電池が落下する恐れがあります。

使いかた

操作スイッチ

■ リモコンの操作スイッチ

通常はリモコンで運転操作を行います。



タイマースイッチ

通常、調理が終わった後は、タイマースイッチを押してください。

タイマースイッチを押すと、そのままの風量で約3分間運転し続けて自動的に運転を停止します。

※タイマーが入の時、本体のリモコン受信部にあるタイマー表示ランプが点灯します。

※3分間のタイマー運転により、調理の後の臭いやファンについた油汚れなどを落とします。

※照明は消えません。照明は照明入／切スイッチを押すと消えます。

切 運転切スイッチ

押すと直ちに運転が停止します。
(照明は消えません。)

ご注意

- 天ぷら火災等でレンジフードを停止させなければならない時にリモコンのスイッチが反応しなかった場合はブレーカーを切ってください。

弱 中 強 運転・風量切替スイッチ

各スイッチに対応して設定が変わり、本体のリモコン受信部にある運転表示ランプが切り換わります。

弱：煙の少ないとき。静かに運転したいとき。

中：通常の運転のとき。

強：煙の多いとき。早く換気したいとき。

照明 照明入／切スイッチ

押すと照明が点灯します。
スイッチを押すたびに入／切を繰り返します。

● 送信確認ランプ

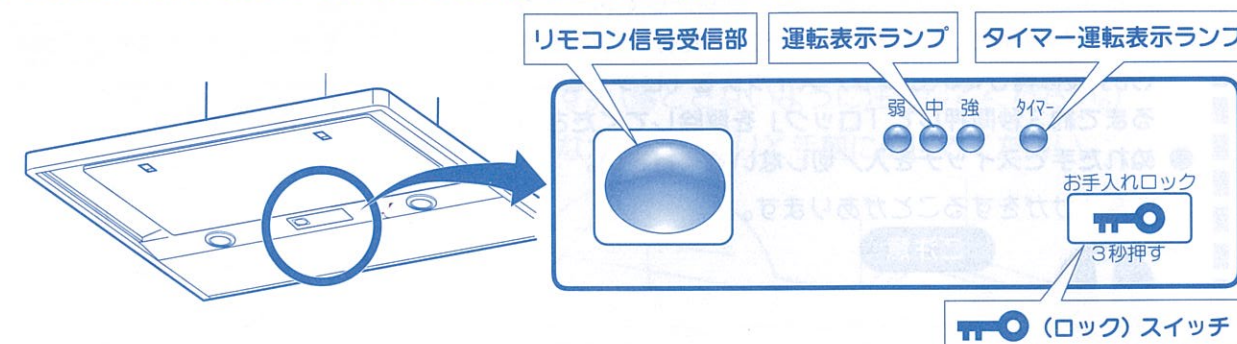
各スイッチを押すごとにランプが点灯します。
スイッチを押してもランプが点灯しなくなったときは新しい乾電池と交換してください。

使いかた

■ レンジフードのロックスイッチ

リモコン受信部にある (ロック) スイッチでレンジフードを「ロック」状態にすることができます。

※ この操作は本体のお手入れやランプ交換の際に必要となります。



(ロック) スイッチ

(ロック) スイッチを約3秒間押し続けると「ピー」と音が鳴り、スイッチが「ロック」されます。運転表示ランプの「弱」のランプが2回ずつ点滅して、「ロック」状態をお知らせします。この状態ではリモコンのスイッチを押しても「ピピピピ」と音が鳴り、ファン・照明は作動しません。「ロック」状態を解除するには、もう一度「ピー」と音がするまで (ロック) スイッチを約3秒間押し続けます。

※レンジフード運転中や照明点灯中はロック操作ができませんので運転を停止し、照明を消した状態で「ロック」してください。

※ロック操作は調理を終え、レンジフードが十分冷めた状態で行ってください。

※停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックは解除されます。

警告



- (ロック) スイッチを操作する時は必ず加熱調理器具を停止した状態で行ってください。

調理器具の炎や熱でやけどをすることがあります。

レンジフード連動タイプ専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合

- このレンジフードをレンジフード連動タイプ専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合、調理器具を使用すると、レンジフードは自動的に「中」運転を行います。調理器具をすべて消火した時、レンジフードは3分後自動的に運転を停止します。
 - レンジフードの風量調節および照明の入／切などの操作を調理器具前面の操作パネルでも行えます。(詳細については調理器具の取扱説明書をご覧ください。)
- ※ 専用調理器具については弊社までお問い合わせください。

お手入れのしかた

警告

- お手入れの際は、必ずレンジフードの「 (ロック) スイッチを「ピッ」と音が鳴るまで約3秒間押してスイッチを「ロック」するが、分電盤のブレーカーを切ってください。(完了後は再び「 (ロック) スイッチを「ピッ」と音が鳴るまで約3秒間押して「ロック」を解除してください。)
- ぬれた手でスイッチを入/切しないでください。

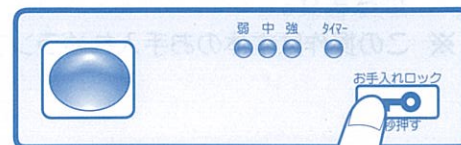
感電やけがをすることがあります。



電源を切る

ご注意

- リモコンの「切」スイッチではロックされません。必ずレンジフードの「 (ロック) スイッチを押してください。



3秒以上!

ブレーカー
OFF



注意

- お手入れの際は、厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。
- 整流板や部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります。



手袋をする



取付注意



- 調理直後の整流板は熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- こまめにお掃除してください。
特にフィルターは汚れやすいので1ヶ月に1度程度の頻度でお掃除してください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにお掃除いただきますと汚れも簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。
- シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉などは使用しないでください。ツヤがなくなったり、変色や塗装はがれの原因になります。
- アルカリ洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんなどの中性洗剤以外の洗剤のご使用はおやめください。
- 60℃以上の熱湯は使用しないでください。プラスチック部品が変形します。
- スイッチなどの電気部品には直接洗剤などをかけないでください。故障の原因になります。
- スロットフィルターは専用のものをご使用ください。一般市販品をご使用になりますと、通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり音が大きくなり故障の原因となる恐れがありますので、絶対に使用しないでください。
又、金属製以外のフィルターをご使用になると火災の原因となる恐れがありますので、これらの使用は絶対にやめてください。

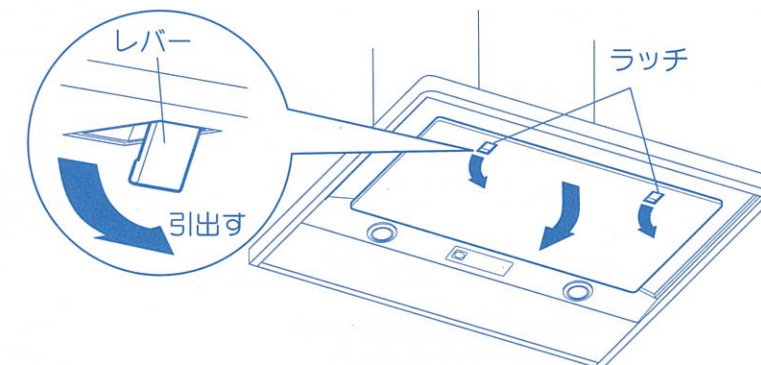
お手入れのしかた

分解・組み立てのしかた

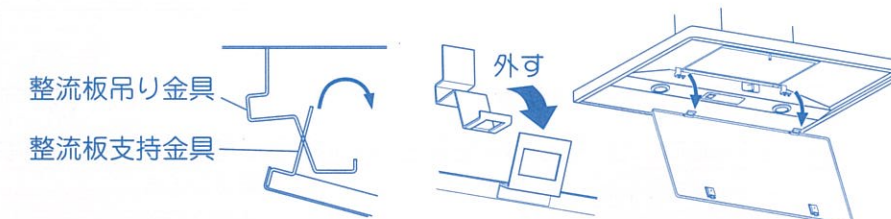
《分解》

1 整流板をはずします。

- ① 整流板を両手でしっかりと支えます。(落とさないように注意してください。)
- ② 左右のラッチのレバーを引き出しながらゆっくりと手前に倒してください。

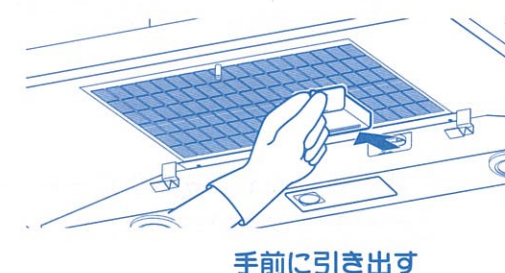


- ③ 整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊り金具から整流板支持金具をはずします。



2 オイルトレイをはずします。

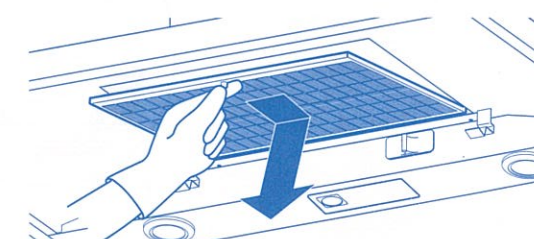
- ツマミを持ってゆっくり手前に引き出します。
- ※ 油をこぼさないようにご注意ください。



手前に引き出す

3 スロットフィルターをはずします。

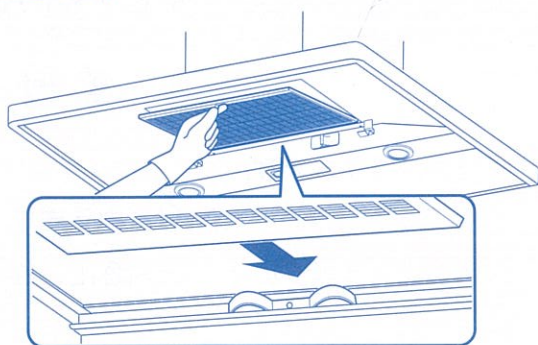
- フィルターのつまみを持って後方に押しながらさげると、手前に取りはずせます。



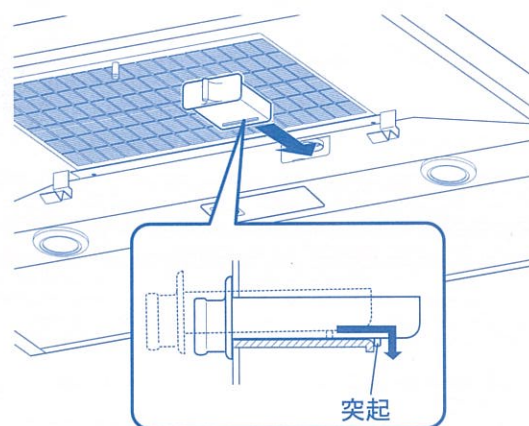
後方に押しながらさげる

《組み立て》

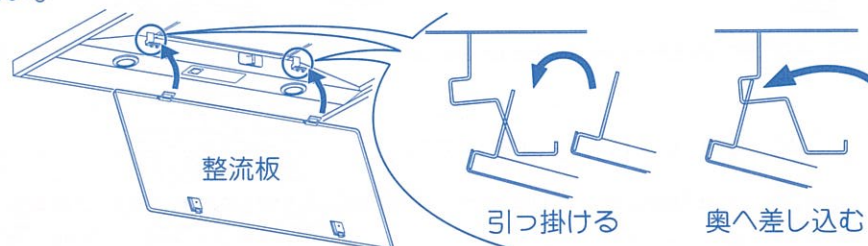
- 4** スロットフィルターを取り付けます。
スロットフィルター下部を、本体の板バネに押しつけながら取り付けます。



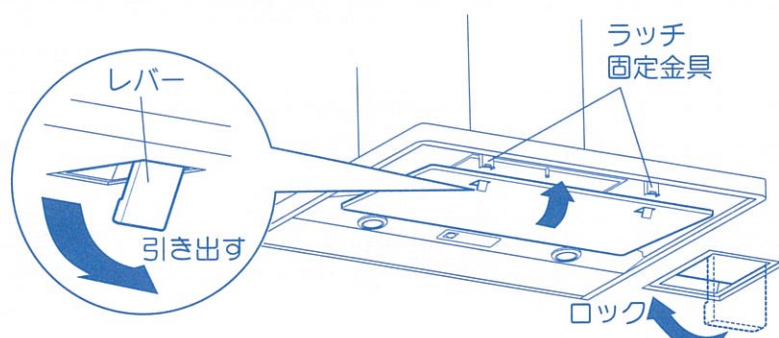
- 5** オイルトレイを取り付けます。
オイルトレイを本体のレールに乗せて取り付けます。ツマミを持って少し持ち上げてからオイルトレイの前面を奥まで押し込みます。



- 6** 整流板を取り付けます。
① 整流板の整流板支持金具を、整流板吊り金具に引掛け整流板の後ろを持ち上げるように奥へ差し込んでください。



- ② 整流板を両手で支えながら先端を上を持ち上げ、左右のラッチのレバーを引き出しながらラッチ固定金具に押し付けた状態でレバーを放すとロックされます。

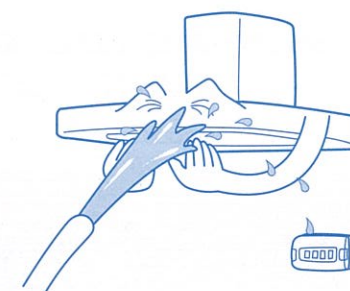


※ 整流板のロックは確実に行ってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。

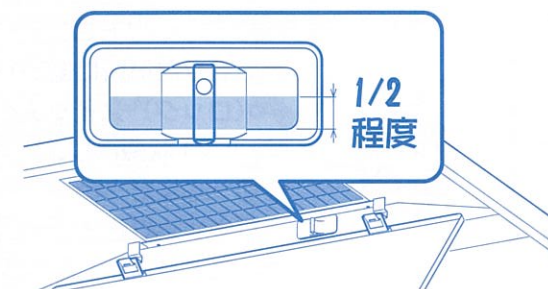
お手入れのしかた

警告

- 電気部品は水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと
発火したり感電することがあります。

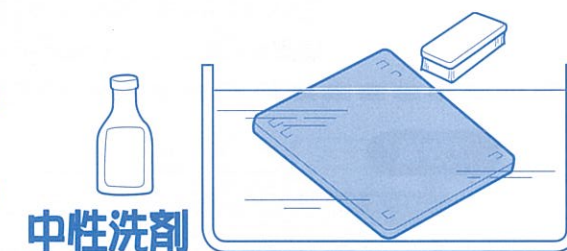


あまり汚れないうちに掃除してください。期間が長くなると、油が固まって汚れが落ちにくくなります。特にスロットフィルター・オイルトレイ・整流板は月に1回程度お掃除してください。
また、オイルトレイは前面から油のたまり具合が確認できますので、窓から見て1/2位たまったら、オイルトレイを引き出して油を捨ててください。1/2以上たまると、オーバーフロー穴より油が漏れる恐れがあります。



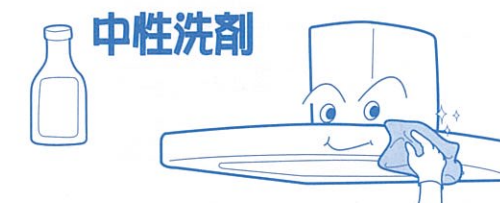
■ スロットフィルター

1か月に1回程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち金属以外のタワシなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



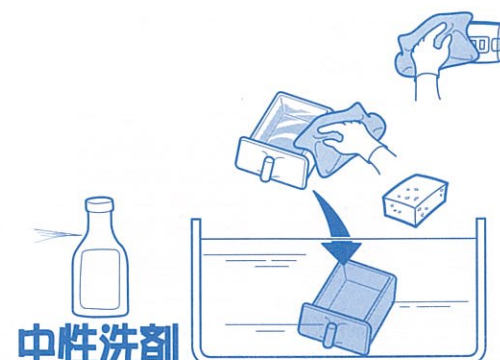
■ 本体・整流板・リモコン

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水で湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。



■ オイルトレイ

柔らかい布などで油をふき取ってからぬるま湯で薄めた中性洗剤に浸した柔らかいスポンジや布で洗ってください。金属ブラシやタワシなど、傷の付くもので洗わないでください。



お手入れのしかた

ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、家電量販店などでミニハロゲン電球（定格12V10W・口金G4）を購入し（一部の家電量販店では注文扱いとなります）交換してください。
尚、弊社でも別売部品として扱っておりますのでご注文ください。

警告

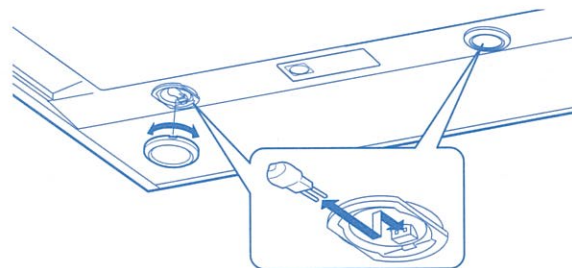
- ランプの交換は、リモコンのスイッチを「切」にし、リモコンユニットをお子様の手の届かない所に置いてください。次に「」（ロック）スイッチを約3秒間押して「ロック」状態にし、分電盤のブレーカーを切ってください。
- 点灯中や消灯後30分以内にランプに触らないでください。ランプやその周辺が加熱しており、やけどの原因となります。
- ランプは上記に示すランプをお求めください。間違った種類・ワット数のランプを使用すると、火災の原因となります。



ご注意

- リモコンユニットのボタンを押してもランプが点灯しないことを確認してください。
- 油で汚れて滑りやすくなっているため、鋼板の切り口や角でけがをしないように厚手の手袋をしてください。

- 1 ランプカバーを開きます。
外周リング部を回して取りはずします。



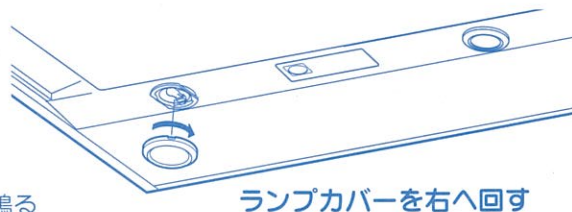
ランプカバーを回す

- 2 切れたランプを取りはずし、ランプカバー内のソケットに新しいランプを確実に固定します。

お願い 電球を素手で持たないでください。

- 3 ランプカバーをセットして右へ止まるまで回し、固定します。

※ 完了後は再び「」（ロック）スイッチを「ピッ」と音が鳴るまで約3秒間押して「ロック」を解除してください。



ランプカバーを右へ回す

お手入れのしかた

ファンのお手入れのしかた

レンジフードを長期にお使いになり、汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順でお手入れを行ってください。

注意

- ダクトカバーをはずしたり、取り付ける際は、厚手のすべらないようなゴム手袋をすること
落下させ、けがをすることがあります。
- ダクトカバーをはずしたり、取り付ける作業は、安定した台の上に乗って行うこと
バランスをくずして倒れ、けがをすることがあります。



手袋をする

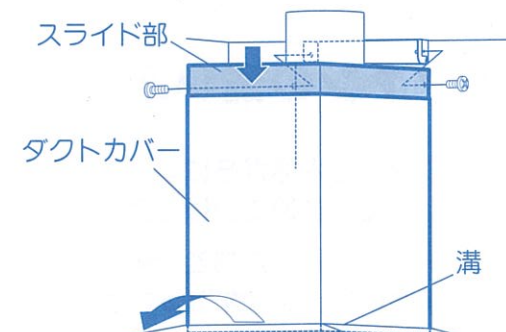


※ ダクトカバーの重さ＝約 6.5kg

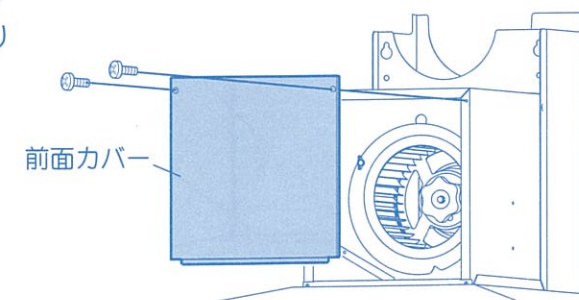
《ファンのはずしかた》

- 1 ダクトカバーをはずします。
スライド部左右の取付ねじ2本をはずします。ダクトカバーを少し持ち上げて、本体の溝からダクトカバーの底部をはずし、手前にゆっくりと取りはずします。

※ 手を傷つけないように必ず厚手の手袋をしてください。



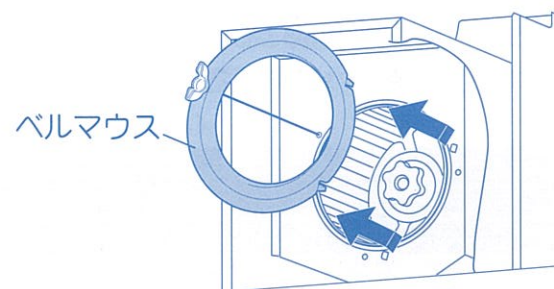
- 2 ファンケースの前面カバーをはずします。
取付ねじ2本をはずし、前面カバーを取りはずします。



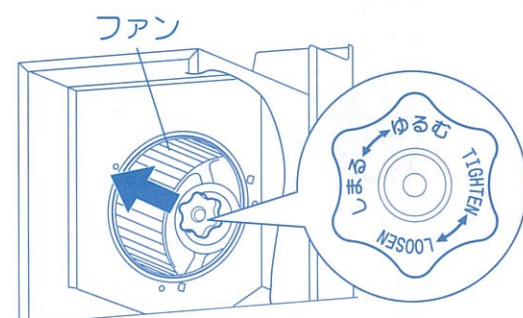
お手入れのしかた

《ファンのはずしかた》 つづき

- 3** ベルマウスをはずします。
ベルマウスの取付ねじ1か所を手で緩め、右側2か所の爪からスライドさせてベルマウスをはずします。



- 4** ファンをはずします。
ファンを押さえ、ツマミを「ゆるむ」の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。



ご注意

- ファンをぶついたり、落としたりして変形させないでください。異常な音や振動の原因となります。

《ファンの洗いかた》

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



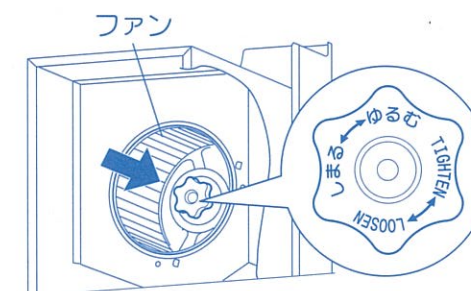
お手入れのしかた

《ファンの取り付けかた》

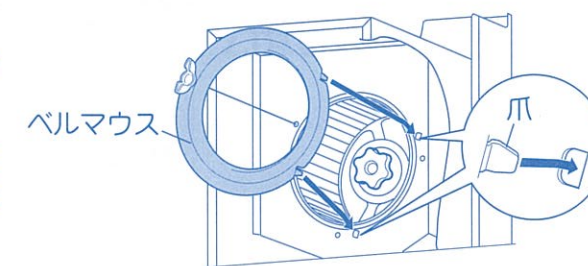
- 1** ファンを取り付けます。
① ファンを根元まで差し込んでください。
② ツマミを「しめる」の方向に回して締め付けてください。

ご注意

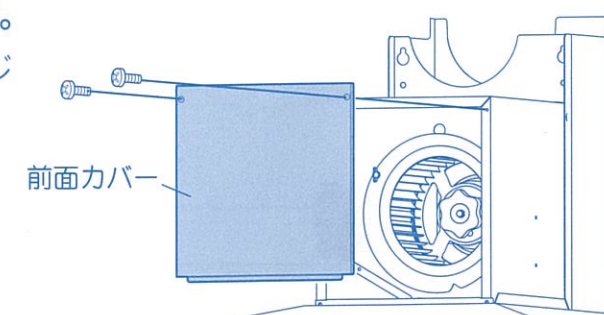
- フランジは確実に奥まで差し込んでください。



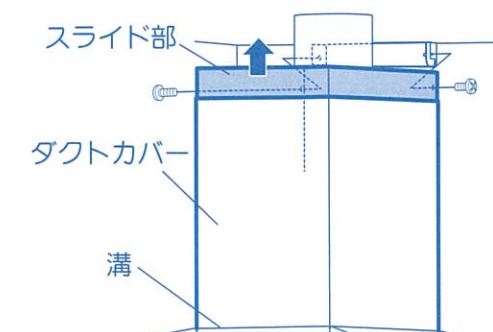
- 2** ベルマウスを取り付けます。
ベルマウスの爪2か所を差し込み、取付ねじ1か所を締め付けてください。
ベルマウスを取りつけてから、ファンを手で回してこすれ音などがないことを確認してください。



- 3** ファンケースの前面カバーを取り付けます。
上部2か所のねじ穴を合わせ、取付ねじを締め付けてください。



- 4** ダクトカバーを取り付けします。
ダクトカバーの底部をを本体の溝にセットし、内側のスライド部を引き上げます。取付ねじ2本で左右から締め付けてください。



故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに 次の点をもう1度お調べください。

症 状	点検するところ
運転しない	● ブレーカーが切れていませんか。 ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 本体のスイッチが「ロック」状態になっていませんか。* ● リモコンユニットの発信部が汚れていませんか。 ● リモコンユニットからの信号が体などに遮られていませんか。
リモコンが動作しない	● リモコンの電池が消耗していませんか。 ● リモコンの電池の向きが間違っていないか。 ● リモコンの本体の受信部が油で汚れていませんか。 ● リモコン信号は正常に受信していますか。 ⇒ 6ページを参照してください。 ● 本体のスイッチが「ロック」状態になっていませんか。*
振動・騒音が大きくなった	● スロットフィルターの汚れが多くなっていませんか。 ● 空気の取り入れは十分ですか。 ● ファン固定用ツマミが緩んでいませんか。 ● ファンは確実に奥まで入っていますか。

*  (ロック) スwitchを「ピッ」と音がするまで約3秒間押し続けると「ロック」状態が解除されます。

仕 様

定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)	製品質量 (kg)
				0Pa 時	100Pa 時	
100	強	50	95	540	435	46
		60	110	520	450	46
	中	50	65	370	—	39
		60	67	320	—	35
	弱	50	35	190	—	24
		60	34	170	—	22

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C9603 による。
レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス (必ずお読みください)

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、この換気扇の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

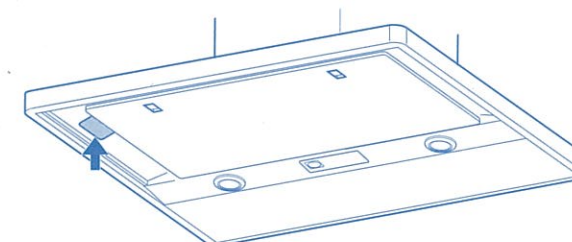
- 製品の保証期間は、お買い上げ後の正常のご使用状態において1年間です。

修理を依頼されるときは

18ページに従ってお調べいただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ずブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品 名	レンジフード
型 名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

レンジフードの型名は、本体の左側面内側に表示してあります。



★長年ご使用の換気扇の点検を

愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。

購入店名

電話 ()

ご購入年月日

平成 年 月 日